

第1回学校運営協議会報告

とき 平成31年1月21日（月）19：30 ところ 豊似小学校会議室

開会挨拶【菅原教育長】

本年は、広尾町の3つの小中学校にコミュニティ・スクール制度を導入する、広尾町の教育にとって重要な年です。

本日、豊似小学校に学校運営協議会を設置いたしました。これにより、これまで学校に任せていた教育目標や教育内容についても、法令や学校運営協議会規則に基づいて、地域住民・保護者が参画することができるようになりました。

「学校と地域の垣根を低くしたい」「学校と地域・家庭が一体となった教育を進めたい」と願っていた学校関係者にとっては期待が膨らむ制度であります。

また、これを機に、地域や家庭の役割を改めて問い直すことも、この制度の趣旨として重要であります。学校運営協議会は地域住民や保護者が学校運営に参画する仕組みであると同時に、自らの役割を問い直し、学校運営に対する理解・協力を促すというねらいがあります。

委員の皆さんにはこうした観点からの具体策についても、積極的に発信していただくようお願いいたします。

教育委員会では、地域や家庭の教育機能を強化するために、「広尾っ子応援団本部」を設置いたします。既に、広報などでお知らせしている「広尾っ子応援団登録制度」や「応援メッセージ」を本部の核となる事業と位置付け、学校運営協議会の取組を後押ししたいと考えております。

本日の協議会では、「豊似小の子ども像」をテーマにした「熟議」が予定されておりますが、これを踏まえて、来年度の豊似小学校の目標や計画が検討されると承知しており、「学校運営への参画」の具体的な形として、意義深いものを感じております。

皆様には、それぞれのお立場やご経験から貴重なご意見をいただけるものと期待しております。

終わりにになりましたが、皆様には、快く協議会委員をお引き受けいただいたことにお礼を申し上げますとともに、本日の会議が実り多いものとなりますことを祈念いたしまして、開会に当たっての挨拶といたします。

会議次第

1. 委嘱状手交
2. 開会挨拶
3. 自己紹介
4. 説明「協議会委員の役割について」
5. 学校運営協議会長、副会長選出
6. 熟議「目指す子ども像」
7. 閉会挨拶

学校運営協議会委員（豊似小）

（地域） 【大庭 ひとみ】 【立花 かおり】 【○近藤 史和】 【◎大庭 克彦】
【北藤 義通】

（保護者） 【原田 昇】 【田辺 敏晴】 【五十嵐 浩二】

（学校長） 【秦 公一】

（教職員） 【伊賀 暢子】

◎会長 ○副会長

熟議「目指す豊似小の子ども像」



学校運営への参画プロセス

目指す子ども像⇒重点教育目標・教育課程⇒経営計画⇒子どもたちの実態⇒学校関係者評価

「熟議」で出された意見は次のとおりです。

いろいろ挑戦 自信をもって積極的に行動 何でも一所懸命出来る
すぐ泣かない 元気 強くなれ
元気で明るく子供らしく のびのび
落ち着いて集中する 整理する力をもってほしい（言葉も）
自分で考える力、想像力・創造力のある子
広い視野をもちいろいろな考え方ができる
思いやりやさしさ 他人のことも考えることができる
文化水準を上げる 夢をもってほしい 音楽のできる子
（本物に触れる機会を増やす） （踊りと劇も）
自然の中でたくましく生きてほしい
スキー、スケート、水泳のできる子

子ども像←・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・→大人像

最後に校長先生が「小学校時期に実現したい子ども像」と「将来的に実現したい大人像」の観点から各委員の意見をとらえなおし熟議を終えました。

（熟議に関する委員の声から）

Q：豊似小の子どもの実態がはっきり掴めないと、「子ども像」も鮮明に出来ないのではないですか。

A：今後、豊似小の子どもの実態を協議する場（8月）を予定しています。また、この制度の導入によって子どもの実態に関する情報がこれまで以上に提供されることになるので、より具体的な話し合いができるようになると思います。（事務局）